

道内 I T 企業

ベトナム進出加速

道内の I T 企業がベトナムへの進出を加速させている。流通システム開発のイークラフトマン（札幌）は今年3月、南部の中心都市ホーチミンに流通管理ソフトを販売する営業拠点を設け、ウェブシステム制作・販売のワイズプランニング（同）も6月をめどに進出する見通しだ。

道によると、昨夏に全額

出資子会社を現地に設けたソフト開発のソフトフロント（同）などに続き、道内 I T 企業で両社はベトナム進出「第2陣」となる。

現地の流通業界は I T 活用が進んでおらず、イークラフトマンは物販の受発注や出荷作業などを一括管理する同社の主力システム（E D I）を売り込む。従業員を現地採用し、7月に

現地法人設立の予定。新山将督（のぶすけ）社長は「まず日系企業に売り込み、現地企業にも販路を広げたい」と話す。

ワイズプランニングは、日本国内で使うパチンコ台用の映像制作拠点をホーチミンに設け、現地技術者を採用する。立川雄三社長は「日本は I T 技術者が不足している。ベトナムの技術

現地の技術者活用／販路を拡大

者の水準は高く、人件費は3分の1程度」と強調。将来はベトナムの結婚式場と提携し、挙式用の映像制作なども手掛ける考えだ。

国際機関・日本アセアンセンター（東京）によると、ベトナムは外国の I T 企業が進出すると、企業税の4年間免除など優遇策を講じる。

道もベトナムで商談会を開き、企業進出を後押ししており、システム開発など道内 I T 企業数社も、ベトナムでの事業展開を本格検討しているという。